

# 平成20年度 事業報告書

## 1. 講座事業

### (1) 春秋記念講座 (会場・時間： 大阪大学中之島センター 18:30~20:00)

#### ◆春季講座 (第115回) <参加者のべ268名>

テーマ 「<日本の漫画>、その源流をたどる」

5/27(火) 物語を語る絵 — 「信貴山縁起絵巻」 から 「ねずみ草紙」 まで — 泉万里 (日本美術史)

5/28(水) 黄表紙の歴史と表現 鈴木俊幸 (中央大学文学部教授)

5/29(木) 浮世絵の「戯画」と「劇画」 大久保純一 (国立歴史民俗博物館教授)

#### ◆秋季講座 (第116回) <参加者のべ152名>

テーマ 「日本マンガの近現代—その表現と思想に迫る—」

10/28(火) 近代マンガにおける思考と発話の制度—のらくろの心はなぜ丸見えなのか—  
ヨコタ村上孝之 (大阪大学言語文化研究科准教授)

10/29(水) 手塚治虫とマンガ表現 竹内オサム (同志社大学社会学部教授)

10/30(木) 長谷川町子・手塚治虫を生み出した「近代漫画」の世界 清水勲 (帝京平成大学現代ライフ学部教授)

### (2) 古典講座

◆コース ・基本コース (A-1~C-2: 全8コース) 参加者数: のべ802名

・集中コース (S-1~5: 全5コース) 参加者数: のべ173名

・特別コース (T-1~2: 全2コース) 参加者数: のべ47名

◆会場 ・大阪大学中之島センター (A-1~4・S-1~2・T-2)  
・大阪市立総合生涯学習センター (B-1~2・C-1~2・S-3~5・T-1)

No	コース名 ・ 講師名	回数・時間・年数
A-1	源氏物語を読む 加藤洋介 (大阪大学文学研究科准教授)	全期8回 18:00~19:30 2年目
A-2	江戸時代の触留帳を読む 村田路人 (大阪大学文学研究科教授)	〃 2年目
A-3	世阿弥の生涯を読む 天野文雄 (大阪大学文学研究科教授)	〃 1年目
A-4	小津安二郎の映画を読む 上倉庸敬 (大阪大学文学研究科教授)	〃 3年目
B-1	老子・荘子を読む 野村茂夫 (愛知教育大学・皇學館大学名誉教授)	全期8回 14:00~15:30 1年目
B-2	論語を読む 加地伸行 (大阪大学名誉教授)	後期4回 〃 1年目
C-1	中国の歴史記録を読み解く 串田久治 (桃山学院大学教授)	全期8回 18:00~19:30 3年目
C-2	文人・儒者の書画と書論 大野修作 (元京都女子大学教授)	〃 1年目
S-1	親鸞を読む 平雅行 (大阪大学文学研究科教授)	8月3回 13:30~15:00 3年目
S-2	上田秋成を読む 飯倉洋一 (大阪大学文学研究科教授)	〃 15:30~17:00 3年目
S-3	学びなおす漢字と漢文Ⅰ 大形徹 (大阪府立大学教授)	7月3回 13:30~15:00 3年目
S-4	学びなおす漢字と漢文Ⅱ 矢羽野隆男 (四天王寺大学准教授)	〃 15:30~17:00 3年目
S-5	幸田露伴「芭蕉七部集評釈」を読む 柏木隆雄 (大阪大学名誉教授)	9~11月4回 18:00~19:30 1年目
	親子で学ぶ懐徳堂講座	
T-1	漢字・漢文とわたしたち 岸田知子 (中央大学教授)	3月1回 14:00~16:00 1年目
T-2	ラフカディオ・ハーンと浦島伝説 玉井暁 (大阪大学文学研究科教授)	〃 1年目

### (3) アーカイブ講座 (第7回)

日 時：平成20年11月7日(金) 13:30~16:00 <参加者47名>  
場 所：大阪大学附属図書館ホールおよび貴重図書室  
講 演：「懷徳堂文庫の歴史」 湯浅邦弘(大阪大学文学研究科教授)  
「貴重資料の電子化」 末吉敬子(凸版印刷株式会社)  
資料解説 池田光子(大阪大学文学研究科助教)

### (4) 法人講座 (第5回)

平成20年度、実施せず

## 2. 刊行事業

- (1) 会誌『懷徳』77号(平成21年1月刊)
- (2) 会報「記念会だより」No.80~82(平成20年4・9月および平成21年2月刊)
- (3) 懷徳堂ライブラリー  
第8集『世界史を書き直す 日本史を書き直す 阪大史学の挑戦』(平成20年6月刊)

## 3. 調査事業

- (1) 西村天因書簡の調査
- (2) 中井木菟麻呂日記の調査
- (3) 懷徳堂四書(『大学雑議』『中庸逢原』『論語逢原』)の調査

## 4. 広報事業

- (1) 法人会員向けメールマガジン第7~9号(平成20年4・9月および平成21年1月発信)
- (2) 入会勧誘等の拡充 → 大阪大学新入生および教職員

## 5. 研究出版助成事業 (第18回)

平成20年7月17日運営委員会にて決定 (6名 総額40万円)

井上了 「中井履軒の著作に関する基礎的調査」  
大坪慶之 「19世紀後半清朝中央における政策決定過程の研究」  
金正文 「鎌倉後期の仁和寺御室一王権との関わりを中心に」  
荒木浩 「大阪大学古代中世文学研究会200回記念論集出版」  
大庭幸男 「第78回待兼山ことばの会講演会」  
神山孝夫 「大阪言語研究会」

## 6. 懷徳忌 (第25回)

日 時：平成20年4月5日(土) 11:00~13:30 <参加者25名>  
場 所：誓願寺(大阪市中央区上本町)  
法 要：山中章裕住職  
講 話：「貝原益軒の学問世界—近世の学問と民衆—」 辻本雅史(京都大学教授)

## 7. 見学会 (第35回)

日 時：平成20年11月10日(月) 13:30~17:00 <参加者17名>  
場 所：大阪天王寺黄檗山清寿院および大阪大学中之島センター  
解 説：「大阪関帝廟の惜字亭を訪ねる」 青木敦(大阪大学文学研究科准教授)

## 8. 資料収集整備事業

平成20年度、実施せず

## 9. 創立100周年記念事業

別紙の通り

## 10. その他

### (1) 講師派遣

#### ① 平成20年7月 摂津市生き生きカレッジ

「メンタルヘルスについて一笑いの効用」

西川勝（大阪大学コミュニケーション・デザインセンター特任准教授）

#### ② 平成20年11月 NPO法人バードハウスプロジェクト

「『論語』の基礎知識および解釈の講義」

矢羽野隆男（四天王寺大学准教授）

### (2) 他団体主催事業への参加

#### ① 公開講座フェスタ（第11回）への参加

日時：平成20年11月17日（水）13:30～14:30 <参加者104名>

場所：大阪府立文化情報センター

テーマ：「臨床哲学とは？」

家高洋（大阪大学文学研究科助教）

以上